

## 会員増強・拡大月間について

国際ロータリー第2660地区  
ガバナー

### 横山 守雄



RIは8月を「会員増強及び拡大月間」と定めていますが、ロータリーにとって会員増強とクラブ拡大が、組織の維持発展のために極めて重要であることから、各クラブの年度始めの活動が実践的にスタートする8月を特別強調月間として指定しているのであります。

昨年度、当地区においては7年ぶりに新クラブとして「大阪ネクストRC」が誕生し、クラブ拡大が実現しましたが、地区全体の会員数が過去10年以上にわたり、年々減少している中で、クラブの拡大は、論理的にも、また実際的にも大変難しい状況下にありました。特性を備えた「大阪ネクストRC」の創立は、これからのクラブ拡大の方向性を示す一つのモデルケースとして全国的にも注目されるのではないのでしょうか。

現在、当地区では殆どのクラブでCLP、即ちクラブの活性化プラン、クラブの将来を展望した発展化計画を推進していただいておりますが、CLPは会員維持と増強に密接に結びついています。新入会員獲得のための方法論をクラブ内で論じることは必要なことですが、それと同時に

新入会員を受け入れるクラブ側の基礎的な受入体制が、応募者に魅力あるものに先ず変わっていかなければ、継続的且つ安定的な会員増強は期待出来ないように思われます。

会員減少が続いているクラブには、会員が負担する大きなコストの問題、会員高齢化による奉仕活動の低下、例会やクラブ会合などのマンネリ・硬直化、新入会員に対する適切な研修やケア不足など様々な問題がありましょう。新入会員を受け入れるクラブ側において、この様な点を先ずしっかりと整備することが会員維持・増強の前提になるのではないのでしょうか。

また特に会員維持と増強については、クラブリーダーの皆様方の熱意によって大きく左右されると言われております。会員減少が続いているクラブリーダーの皆様には、2008-09年度に会員減少に歯止めが掛かり、純増へ転じるきっかけの年になりますように、そして会員純増が続いているクラブリーダーの皆様には、更なるクラブ飛躍の年になりますよう、是非皆様方のそれぞれの会員増強にかける「夢をかたちに」して頂きたいと願っております。